

令和3年度 青森県学習状況調査結果報告について

1 調査の概要

- (1) 趣 旨 各教科の学習の定着状況を把握し、課題を明らかにするとともに、学習指導の改善や本県児童・生徒の学力向上に資する。
- (2) 実施日 令和3年8月25日(水)
- (3) 対 象 小学校 第5学年児童 2,115人(県内9,436人)
中学校 第2学年生徒 2,201人(県内9,576人)
- (4) 実施教科 小学校 国語・社会・算数・理科
中学校 国語・社会・数学・理科・英語
- (5) 調査内容 基本問題…基礎的・基本的な知識・技能を問う問題
活用問題…知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を問う問題

2 調査結果

【小学校】

(通過率…%)

	国語	社会	算数	理科	総合
青森市	64.4	64.5	52.4	59.1	60.1
青森県	61.5	62.8	49.8	56.7	57.7
本市と県の差	+2.9	+1.7	+2.6	+2.4	+2.4

【中学校】

(通過率…%)

	国語	社会	数学	理科	英語	総合
青森市	66.1	56.0	42.6	50.5	46.3	52.7
青森県	65.5	53.5	40.1	47.5	44.3	50.6
本市と県の差	+0.6	+2.5	+2.5	+3.0	+2.0	+2.1

(通過率：総正答数を総問題数で除した割合)

3 本市児童・生徒の学力の状況

全ての教科で、通過率は県の平均を上回っており、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題の通過率が高いが、全国学力・学習状況調査と同様に、以下の問題に課題がある。

- ・複数のデータや資料から必要な情報を読み取り、それに基づいて判断したり、表現したりする力を問う問題
- ・様々な角度から事象を捉えて文章で説明する問題(記述式問題)

4 今後の取組

課題に対応できる資質・能力を身につけさせるために必要とされる以下の学習活動を取り入れた新たな学びについて、研修講座や学校訪問等で具体的な指導・助言を行う。

- ・文字、画像、グラフや資料等、多くの情報から必要な情報を読み取った上で、判断したり、表現したりする活動
- ・自分の考えを口頭で説明し、その上で比較検討したり、関連づけたりしながら文章で説明する活動